

令和元年度 学校教員統計調査

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、学校の教員構成並びに教員の個人属性、職務態様及び異動状況等を明らかにすることを目的とする。

2. 調査の期日

- (1) 学校調査 令和元年10月1日現在
- (2) 教員個人調査 //
- (3) 教員異動調査 平成30年度間(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

3. 調査の種類及び対象

(1) 学校調査

教員個人調査に抽出されなかった学校の性別・年齢別・職名別本務教員数(実習助手を含む。)

ただし、次の者は本務教員として扱わない。

- 兼務教員(非常勤講師を含む。)
- 臨時的任用の教員(ただし、産休代替教員、育児休業代替教員は対象とする。)
- 教員免許状を所有していない教員(ただし、「校長」、「副校長」、「教頭」、「実習助手」については、教員免許状を所有していなくても本務教員として扱う。)

(2) 教員個人調査

- ① 公立の学校…幼稚園、小学校、中学校、高等学校(全日制課程)は抽出。高等学校(定時制・通信制課程)、特別支援学校、専修学校はすべての学校(課程)。
- ② 私立の学校…幼稚園、中学校、高等学校(全日制・通信制課程)はすべての学校(課程)。専修学校、各種学校は抽出。

調査対象となった学校のすべての本務教員の性別、年齢、職名、学歴、勤務年数、教員免許状の種類、週担当授業時数、給料月額等

なお、専修学校、各種学校については、兼務教員も対象とする。

<教員個人調査実施校の抽出率>

区分	幼稚園		小学校	中学校		高等学校					特別支援学校	専修学校		各種学校
	公立	私立	公立	公立	私立	全日制		通信制						
						公立	私立	公立	公立	私立	公立	公立	私立	
本県の抽出率	1	1	1/5	1/4	1	1/3	1	1	1	1	1	1	1/2	1

(注) 抽出率1は、しつ皆調査である。

(3) 教員異動調査

専修学校、各種学校を除くすべての学校における、採用・転入・離職本務教員(産休代替教員、育児休業代替教員は除く。)の性別、年齢、職名、異動の状況、学歴(採用・転入者のみ)、採用前の職業、転入前の学校種又は離職の理由等

- 採用…当該学校の本務教員として、高等学校以下の学校の本務教員以外の職業等から異動した者。
- 転入…高等学校以下の学校の本務教員から当該学校の本務教員として異動した者。
- 離職…当該学校の本務教員でなくなった者。なお、当該学校の本務教員から引き続き他の高等学校以下の学校の本務教員として異動した場合は「離職」として取り扱わず、異動先で「転入」として取り扱う。

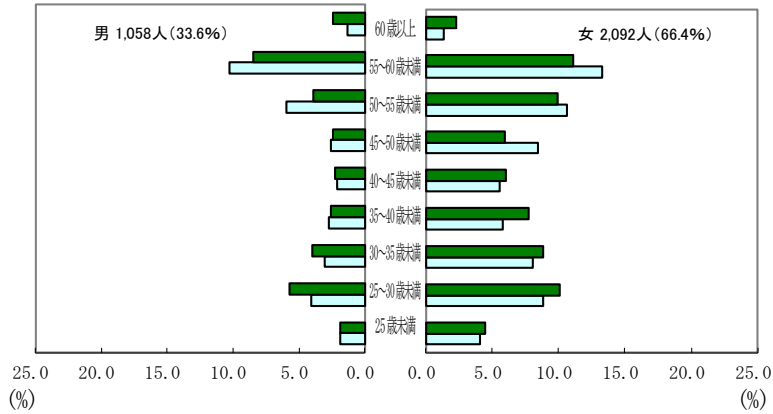
II 調査結果の概要

■ 令和元年度
■ 平成28年度

【本務教員の年齢構成】 (学校調査 公立)

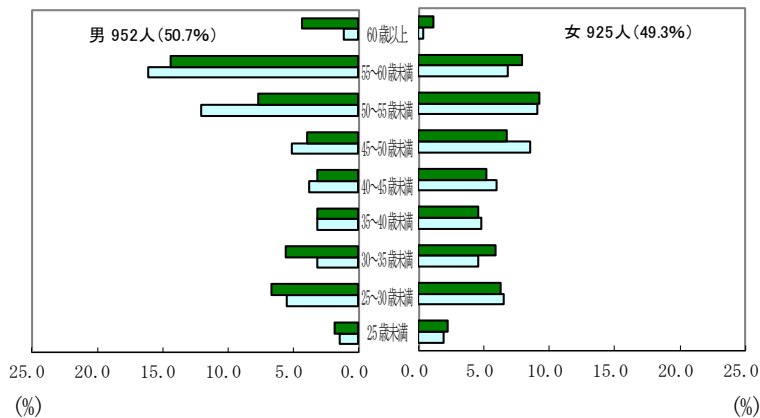
小学校

3,150人 (100%)



中学校

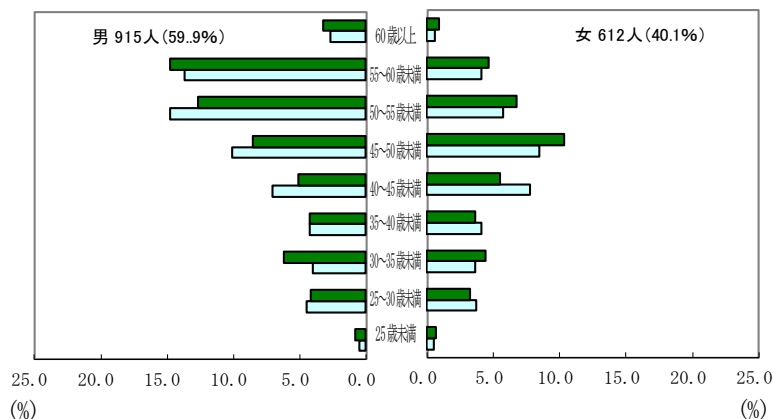
1,877人 (100%)



高等学校

(通信制課程については教員個人調査から集計)

1,527人 (100%)



① 公立小学校の本務教員数(代替教員及び実習助手を除く。以下同じ。)は3,150人で、そのうち女性教員は2,092人(66.4%)となっている。校長のうち女性の占める割合は21.7%で、前回(平成28年度)調査より上昇している。副校長、教頭のうち女性の占める割合は35.6%となっている。

最も割合の高い年齢構成(5歳階級区分)は、「55歳以上60歳未満」(19.6%)、次いで「25歳以上30歳未満」(15.7%)となっている。

平均年齢は、42.8歳(前回43.7歳)となっている。

② 公立中学校の本務教員数は1,877人で、そのうち女性教員は925人(49.3%)となっている。校長のうち女性の占める割合は3.1%で、前回調査より低下している。副校長、教頭のうち女性の占める割合は12.4%となっている。

最も割合の高い年齢構成は、「55歳以上60歳未満」(22.3%)、次いで「50歳以上55歳未満」(16.9%)となっている。

平均年齢は、44.9歳(前回45.0歳)となっている。

③ 公立高等学校の本務教員数は1,527人で、そのうち女性教員は612人(40.1%)となっている。校長のうち女性の占める割合は3.3%で、前回調査より上昇している。副校長、教頭のうち女性の占める割合は8.5%となっている。

最も割合の高い年齢構成は、「50歳以上55歳未満」(19.4%)、「55歳以上60歳未満」(19.4%)、次いで「45歳以上50歳未満」(18.8%)となっている。

平均年齢は、46.3歳(前回46.1歳)となっている。